

北信越ジュニア委員会からお知らせ

- 1 本年度から全日本ジュニアテニス選手権にU10グリーンボール大会が新設されます。各県においては県大会が開催されていますが、本年度は北信越地域予選大会を準備しておらず、各県からの推薦となります。
全国大会は、男女各32ドローで、北信越地域から各3名が出場できます。
(補足：北信越5県で男女合計6名の出場者を決定します。各県1名から2名)
最終選考は7月の北信越ジュニア選手権終了後の予定です。
各県の予選に出場される選手は、なるべくジュニア登録(JPIN登録)を済ませてください。全国に出場する際にはオンラインエントリーとなるためです。

新潟県説明

5月18日 春季フューチャーズ10歳以下シングルスを予選会とします。今年度につきましては全日本ジュニア新潟県予選(18歳以下から12歳以下)に出場していても、全日本ジュニアU10予選となる春季フューチャーズ10歳以下にエントリー可能とします。(但し、規定により全日本ジュニア本大会で他カテゴリーとの重複エントリーはできません 例 12歳以下シングルスに出場の場合、10歳以下は出場できません)
※本戦出場者については7月の北信越ジュニア終了後に決定予定です。

- 2 本年度からJPIN運用経費が外税方式となり220円となりますが、本年度4月以降の北信越大会については200円しか徴収せず、20円は北信越テニス協会が負担します。

新潟県説明

県内大会も同様の扱いにします(値上げ等は本年度しません)

- 3 本年度の全日本ジュニアテニス選手権にノーレットが採用されます。このため、北信越ジュニアテニス選手権も採用します。各県の予選については各県協会の判断にお任せしています。参考までに高校総体(インターハイ)も採用される予定です。
来年以降の各全国大会に採用するかは今後検討されます。

新潟県説明

全日本ジュニア県予選はノーレットにて行います。

ノーレットルールの採用について

注：ノーレットルールはサービスに対してのルールですので、それ以外のポイントレットについては対象外となります。

シングルス・・・ノーレット方式を採用

ダブルス・・・ノーレット、ノーアドバンテージ方式を採用 通常、サービスでネットインをした場合、やり直し（レット）ですが、ノーレット方式ではそのままレシーブとなります。※やり直しにはなりませんので、間違っ止めた場合は失点となります。※明らかに取れないボールもあると思いますが、その場合でもやり直しにはなりません。